

## 移住定住促進対策に関する成果報告と提言について

移住促進対策特別委員会 委員長 上野 公悦  
副委員長 丸山 章  
委員 大島 洋一  
委員 杉田 勝典  
委員 栗田 英明  
委員 永島 義雄

### I：提言

(1) これまで2年間で先進地視察や上越市移住定住コンシェルジュや移住定住インフルエンサーなどとの意見交換会を行ってきたが、移住定住問題は子育て支援から福祉全般、若者の働く場所の確保、緑豊かな住環境整備など実に多岐にわたる。各地の取組施策を見ると、移住定住を促進するために各種奨励金の交付や、住宅提供などの取組の例もみられる。しかし、そのような施策は根本的な解決策にはなりえないことは明らかである。

山形県東根市を視察した際に視察先の担当課長がしみじみと「移住定住対策で即効薬はない。一つ一つの施策を地味に着実に続けてきたことが今につながっている」と述べられた。ここは、「さくらんぼ東根駅」で知られる果実を中心とした果実大国としても知られている。山形空港と高速道路網、そしてそのインフラの利便性ととも、働く場所と居住が一体に整備され、豊かな自然環境と子育て環境など若い人たちに受け入れられており、50年以上社会増が続いている。

(2) 移住定住を考えると、そこに住む誰もが「わが町としての誇り」を感じ、「住んでいてよかった、これからも住み続けたい」と思えるようになることが大事だ。そのためには、住民が主体的に住みやすい街を作ることが重要であり、その実現のために行政は、福祉、子育て、安全・安心、豊かな職・住環境や利便性などのような仕組みの整備や予算の確保を行う必要がある。

(3) 当市においては「持続可能なまちづくり」をうたうことによって、市民サービスの後退、負担の増加などが市民から指摘されている。「市民がどまんなか」の市政を心がけ、特別・個別的な施策に頼らず、市民が暮らしやすい、安心安全な施策の充実を望む。

- (4) 移住定住対策は極めて大きな課題であることには間違いないが、当市においては、移住定住にかかわる専門的な役割を果たすコンシェルジュやインフルエンサーが設置・配置された情報発信をはじめとする本格的な動きはこれからである。我々議会としても、継続的な活動によって、行政と一体になった取組が必要である。したがって、次期議会構成においても、引き続き特別対策委員会を設置し、継続的な研究がなされるべきである。

## Ⅱ：上越市の人口の現状と将来推計など

別添資料1 上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（改訂版）のとおり

## Ⅲ：移住定住促進対策特別委員会活動報告

- ① 平成30年5月24日 移住定住促進対策特別委員会開催
  - ・正副委員長の互選について
  
- ② 平成30年10月16日～17日 行政視察
  - ・山梨県甲府市 甲府コンシェルジュや移住ノートの取組による移住定住対策
  - ・長野県伊那市 新山定住促進協議会の取組及び伊那市移住・定住促進プログラムによる若者が集うまちづくりについて
  
- ③ 令和元年5月8日～9日 行政視察
  - ・福島県本宮市 移住定住促進のための住まいに関する施策について
  - ・山形県東根市 移住定住施策における子育て支援及び農工一帯のまちづくりについて
  
- ④ 令和元年11月26日 移住定住施策にかかわる方々との意見交換会
  - ・テーマ 移住定住に関する取り組みについて
  - ・出席者 移住定住コンシェルジュ 上越市移住インフルエンサー  
移住定住促進対策特別委員会委員

## Ⅳ：2年間の行政視察の概要

別添資料2 平成30年度視察概要及び令和元年度視察概要のとおり